

解答

一

- 問一 A 提供 B 複雑 C 感知 D 胃腸 E 費
F 因果 G 備 H 伝授 I 地層

問二 途方もない数の手順が同時並行で手際よく進められるのは、驚くようなことだから。

問三 野生界の動物は生の食材から栄養を得ているのに、ヒトだけが手間のかかる調理をするから。

問四 利用可能な栄養量が増える

問五 栄養がたくさんあるものを食べることは生物学的に利点があり、その利点を積極的に得られるように舌でおいしいと感じるようになっていくから。

問六 加熱するための火を制御する知恵

問七 火を多様な目的に合わせて色々な使い方をすること。

二

問一 目が見えないことで大変なことが多いが、できるだけ前向きな気持ちでいようとしている。

問二 紙に打たれた文字を指でたどって読むので、紙の手ざわりのよさがよく分かるから。

問三 指で一文字ずつ点字をたどっていく動作

問四 点字本を作ってくれた人の優しさや苦勞が、点字の打ちまちがいとして残っている本の持つ、特別な温もり。

問五 本を貸し出す仕事をしている最中なので、同級生であってもかしこまった対応をしなければならないから。

問六 下級生が一生懸命に本を選んで、読もうとしている様子をほほえましく思っている。

問七 同い年の子くらない気持ち

問八 見知らぬ少女が一生けんめい点字の本を打ち、自分と同じ本が好きな同い年の女の子だと思つと、親近感がわき、まるで友達になったように感じられたということ。

三

問一 ウ

問二 家ではなんでもないので、外で父に会うと恥ずかしい。

問三 3 父の死を見届けたこと。

4 自分が死ぬこと。

問四 若い息子が明るい未来に向かっていっているように感じたから。

問五 父から自分へ、自分から息子へと命のリレーが行われていて、そのタスキが子へ渡されたこと。